

牛久：学校周辺に見る自然

第59号

ひたち野みずべ公園(ひたち野うしく小)

2021年3月13日発行

< 幼虫で越冬する虫たち >

ひたち野うしく小4年生と歩いた、冬のみずべ公園。今回は、^{ようちゆう}幼虫^{ふゆご}で越冬する虫たちです。



^{なふだ}名札^{みき}と幹^{みき}の間で、ヨコヅナサシガメ^{ようちゆう}幼虫^{しゅうだんえつどう}が^{ごんちゆう}集団越冬^{ごんちゆう}していた。

秋^{かんさつ}の観察^{おぼ}を覚えていた子がけっこういて、うれしく思いました。アカメヤナギの名札^{なふだ}と幹^{みき}の間に、たくさんのヨコヅナサシガメ^{ようちゆう}幼虫^{えつどう}がたまって越冬^{えつどう}していました。グロテスクな姿^{すがた}ですが、葉^はを食べてしまう虫^{たいじ}たちを退治^{たいじ}してくれる、木^こにとってはありがたい昆虫^{こんちゆう}です。これほどではありませんが、さくらやクヌギの幹^{みき}のくぼみにも、小さなかたまりが見つかりましたね。



左から、オオミノガ、ミノガ、チャミノガのみの。右2枚は不明(たぶん、左がオオミノガ、右はミノガ)。

みのむしも、オオミノガ、ミノガ、チャミノガなど、いろいろな種類^{ようちゆう}が見つかりました。中には^{うか}幼虫^{から}が入っていますが、中にはすでに羽化^{うか}して空っぽ^{あな}のものもあります。



空っぽ^{うか}と言えば、イラガのから^{まゆ}繭^{うか}も見つけましたね。羽化^{うか}した時の穴^{あな}が空っぽ^{うか}です。からでないものは、中にさなぎ直前^{ようちゆう}の幼虫^{ようちゆう}が入っています。幼虫^{ようちゆう}の場合も、寒さや乾燥^{かんそう}に耐えられるように、いろいろなくふうが見られましたね。幼虫^{ようちゆう}ってすごい！

【理科支援員：宮内】

イラガのから^{まゆ}繭^{うか}。